

A.I.S鉄骨造新工法
ピンブレース構造工法



鉄骨造ピンブレース構造で
こだわりの安心住宅を

A.I.S鉄骨造新工法の「ピンブレース構造」なら、
狭い道路や狭小地でも建築が可能です。



株式会社 A.I.S 建築設計

特徴

特徴1

自由度の高い設計が可能

木造住宅と比較して、建物を支えるための柱や梁が鉄骨の為、大きな窓や開放感のある間取りが可能。当社ピンプレース構造は大柱が不要の為、室内に柱形が出ません。よってすっきりとした間取りの自由度が広がります。

特徴2

狭小地でも建築可能

狭小地、道路幅員が狭い場所には大型重機が入れない為、建築する事が厳しくなります。鉄骨造ピンプレース構造は小型重機等で建築が行える為、通常建築出来ないような場所でも建築が可能です。

特徴3

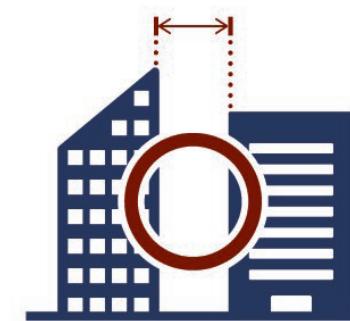
低成本での建築が可能

長年の当社建築を行うことにより、そのノウハウを基に新工法鉄骨造ピンプレース構造の建物が誕生しました。結果、一般戸建住宅と同等の価格を達成しました。もちろん、鉄骨造の為、火災保険料が安くなります。

特徴4

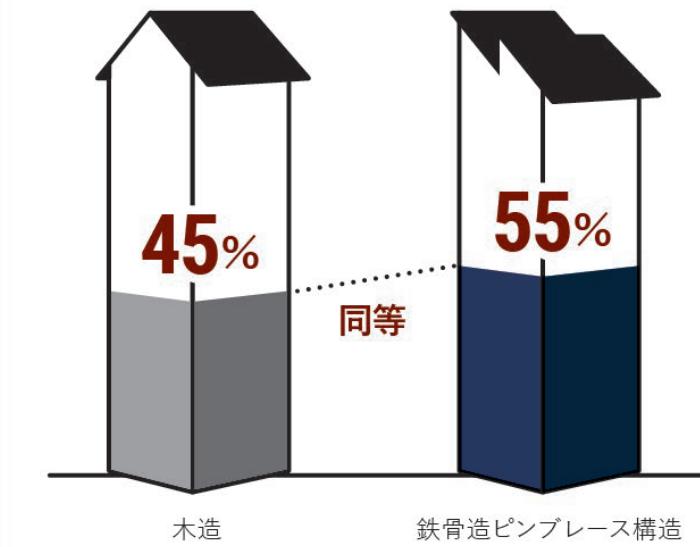
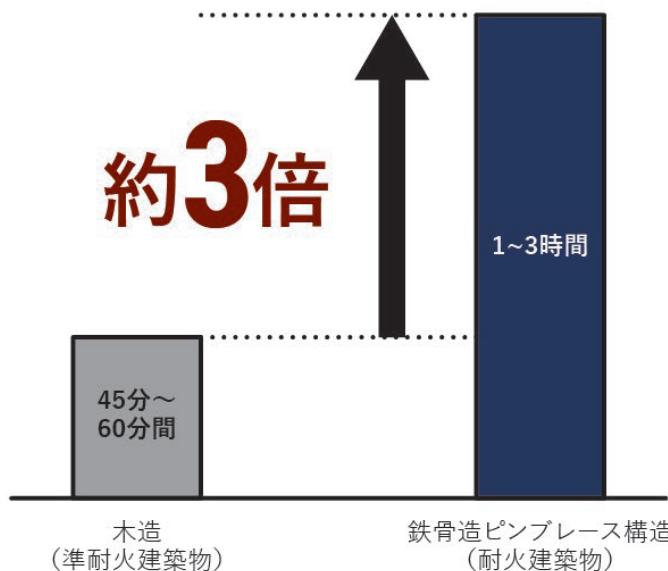
地震や災害に強い

耐震性に関しては鉄や鋼の「粘り」によって、木造住宅より地震に耐える構造。地震や水害にも強く、遮音性の高さでも木造住宅に勝っています。



木造との比較

加熱に対する非損傷性、遮熱性、遮炎性の確保時間

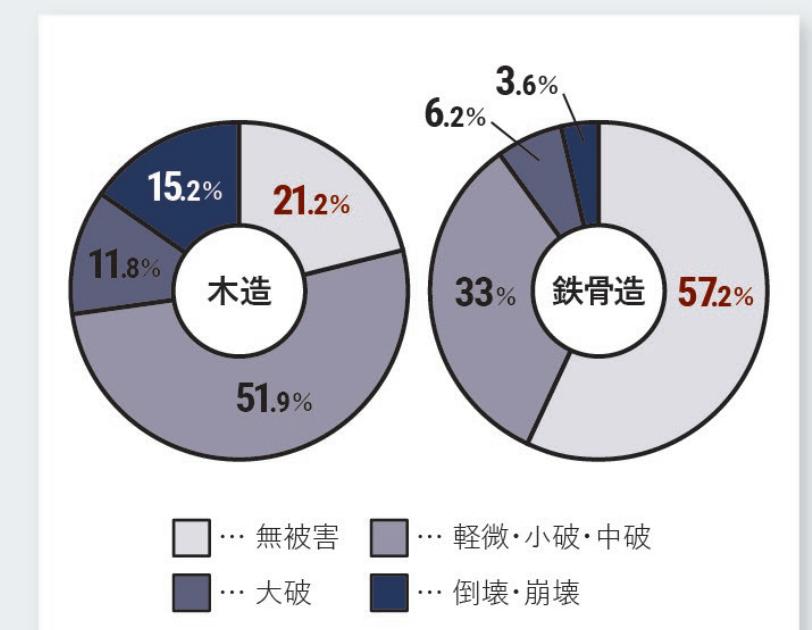
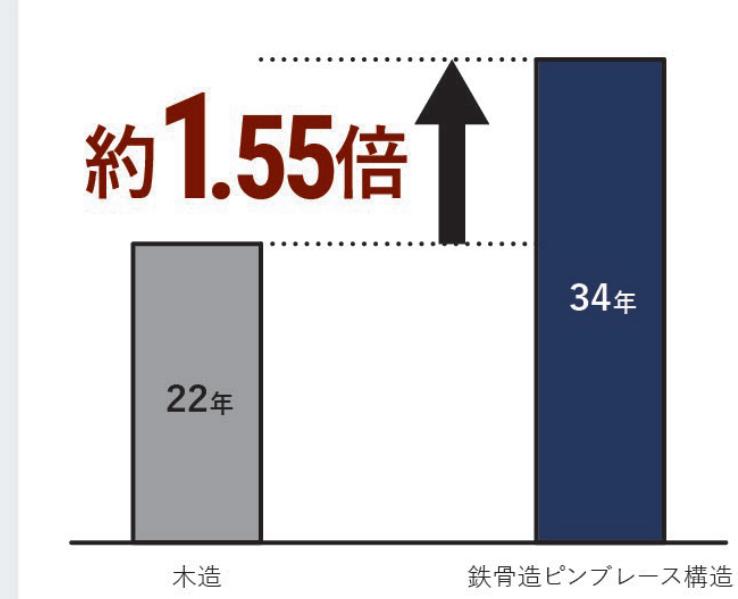


準耐火建築物と耐火建築物の防火性能比較

準耐火構造は「一定時間の火熱が加えられている間、損傷などが生じない構造(火熱が加えられなくなった後は、損傷などが生じることを許容)」として、耐火構造は「一定時間の火熱が加えられた場合があっても、損傷などが生じない構造」として、それぞれ性能が定められている。

建築コストの比較

木造住宅と重量鉄骨を比較すると、明らかに重量鉄骨の建築費が高額です。しかし、当社鉄骨造ピンプレース構造は当社ノウハウと企業努力により、木造住宅とほぼ同等の建築価格を実現しました。



法定耐用年数の比較

木造戸建住宅は耐用年数22年。当社鉄骨造ピンプレース構造は34年の耐用年数となります。よって住宅ローン及び銀行等の建物評価が有利となります。

木造と鉄骨の被害状況比較

国土交通省HPより算出したデータをグラフ化したものです。上記の通り、明らかに鉄骨造が地震、災害に強いことを表しています。